

第18回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト エントリー規程

1. 参加チームは2名以上、5名以下で構成され、全員学生であること。
2. 1つの学校から複数のチームがエントリーするのは妨げないが、メンバーの重複は認めない。また、複数チームが類似の機体で参加していると判断される場合はエントリーを取り消すこともある。
3. 各チームの代表者は一般社団法人日本航空宇宙学会の学生会員あるいはジュニア会員であること。ただし、コンテスト当日までに会員登録されていれば良い。
4. 操縦者は遠隔操作を十分に習熟し、日本ラジコン電波安全協会のラジコン操縦士に登録していること。コンテスト当日までの登録は必須であるが、練習飛行時に登録を完了していることが望ましい。なお、チーム代表者が操縦者である必要はなく、メンバー全員が登録する必要はないが、飛行練習も含め操縦を行う可能性のある者は必ず登録すること。
5. 機体開発中の安全管理のために、各チームは顧問の教員(所属学校の先生)1名を置きその指示に従うこと。なお、顧問は一般社団法人日本航空宇宙学会正会員であることが望ましい。顧問はコンテスト当日、来場する必要はない。教員1名が複数のチームの顧問になることは可能である。
6. 各チームは機体製作の様子が分かるように以下の提出物がそれぞれの期限までに承認されていること。
 - 1)エントリー後すみやかにFacebookページ等でチームのホームページを作成しチーム紹介のメッセージを投稿して公開し、そのURLを提出すること。
 - 2)所定の機体審査用紙をPDFファイルにて指定された方法で提出して、9月2日正午までに大会委員の承認を受けていること。
 - 3)機体レギュレーションに定められた1分以上の飛行動画をYouTubeに掲載してそのURLを指定された方法で提出して、9月16日正午までに大会委員の承認を受けていること。
 - ・飛行動画は発進から着陸まで撮影すること。
 - ・飛行動画は室内での撮影であること。
 - ・自動着陸に挑戦するチームはその様子を動画に収録すること。
7. 各チームは競技規定(飛行競技ルール、機体レギュレーション)を遵守して機体開発を行うこと。
8. エントリーと出場枠(この部分は出場枠規定と同じです)
 - ・エントリー時には出場する部門を決定すること。
 - ・機体審査並びに動画審査にて承認を受けたチームが60チーム以上になった際には、両提出物の内容を元に主催者が参加チームを指定する。

- ・機体審査並びに動画審査にて承認を受けたチームが60チーム未満になった際には、締切りを延長することがある。ただし締切り延長で承認になったチームは大会に参加できるが順位の対象外とする。

9. エントリーは大会ウェブサイトのシステムの案内に従ってマイページを作成し必須事項を入力して登録することで完了する。登録完了時には代表者ならびに顧問の教員にメールが送信されるので確認しておくこと。なお、顧問のメールアドレスは必ず大学から支給されたメールアドレスとすること。登録するメールアドレスは添付ファイルを受信できるメールアドレスとすること。

10. 大会事務局からの連絡のため、特定のツールを使用する場合がある。その場合は事務局の指示に従うこと。

以上の条件を満たす場合に限りエントリーを許可します。

尚、エントリーチームが多数のときは機体審査用紙並びに飛行動画による出場チームの調整を主催者が行う可能性があることを了承すること。